



段楽 PAT.

キャスター付き段差解消スロープ DANRAKU

高さ無段階の自由調節で、現場の段差を解消。
キャスター付きのスロープだから、楽々移動。

- はさまれ防止に安全ストッパー
- 高さ調節の目安に調節用目盛り
- 楽に移動できるキャスター付き

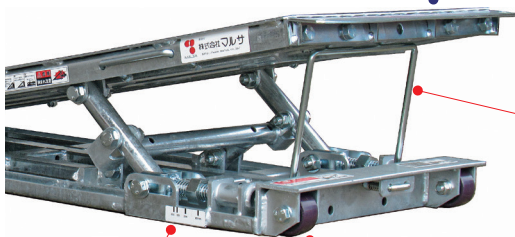


100mm～250mm
無段階で高さ
調節が可能



おすすめ ポイント

※1 先端プレート
変形した場合
交換できます。



安全ストッパー

安全

段楽を設置する際、天板が落下するのを防ぎます。

※ 設置及び撤去の時のみ使用します。

※ 必ずご使用方法をお読みになり手順を守ってお使いください。

高さ調節用目盛り

簡単

ナットを目盛りにあわせて調節
すると、高さの目安になります。

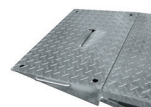
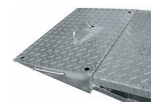


ナットをまわして高さを調節。
高さは 100mm～ 250mmの無段階調節。

キャスター

便利

キャスターが付いているから
グリップを持って楽々移動。



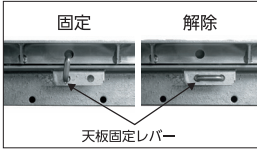
グリップは収納式。
段楽使用中は邪魔になりません。

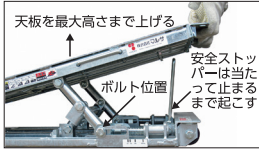


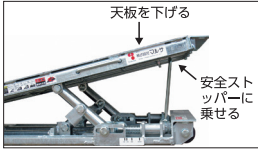
キャスター

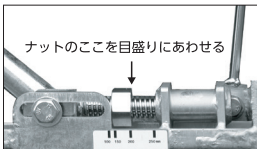
ご使用方法

高さ調節は、必ず手順を守ってください。

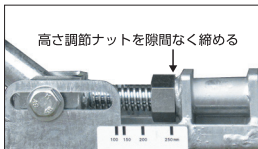
- 

固定 解除
天板固定レバー
 - 

天板を最大高さまで上げる
安全ストッパーは当たって止まるまで起こす
ボルト位置
 - 

天板を下げる
安全ストッパーにさせる
 - 

ナットのここを目盛りにあわせる
 - 

先端プレートを確実に乗せる
高さ調節ナット
 - 

高さ調節ナットを隙間なく締める
- ①段梁を平らな地面に置いて、天板固定レバーを解除する。
②天板を最大高さまで上げて、安全ストッパーを起こす。
・天板の最大高さは、ボルトが先端側と逆の位置にあること
で確認してください。
・安全ストッパーは、必ず先端側に当たって止まるまで起こ
してください。
・安全ストッパーが途中で止まった状態だと、天板が落下す
る場合があります。危険です。
③天板を下げて、安全ストッパーにさせる。
④高さ調節ナットを、段差の高さの目盛りにあわせる。
※1. 安全ストッパーを外した時、先端プレートがおおよそ目盛り
の高さになります。
⑤段梁を段差に寄せて、少し天板を持ち上げ安全ストッパーを外し
て倒し、段差に先端プレートを確実に乗せ、高さ調節ナットで高
さの微調整をする。
⑥高さ調節ナットは段差側に回して隙間なく締める。

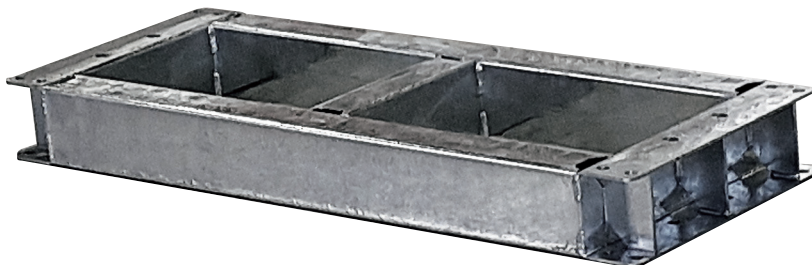
段梁

専用オプション **受注生産**

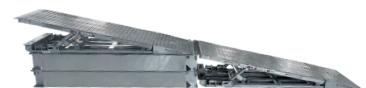
段梁用架台

高さ調節幅が増え、現場作業をより効率化させる専用架台。

段梁と架台の組合わせで、高さ500mmまでの段差を解消します。



型 式	DR-G
寸 法	L1,190×W400mm
高 さ	H125mm
単 重	約27kg
耐 荷 重	1,000kg



高さ500mmまで対応可
※架台を2台積み重ねます。



高さ375mmまで対応可

取付け方法

段梁本体と架台をボルトとナットで固定するだけです。
架台を組み合わせる際も同様です。

